

	<p>健康な体 誠実な心 豊かな知性</p>	<p>しのめ</p>	<p>尾張旭市立東中学校 学校だより 令和3年度 第11号</p>
<p>感染症防止のため、残念ながら合唱練習ができない卒業式前の学校。それでも最高の卒業式にむけて準備します。</p>			

小さい頃の夢がひとつかなかったかな…

「トリプルコーク 1440！」「人類史上最高難度のルーティーン！」。興奮する実況のアナウンサー。きっと会場の誰もが、他の選手たちも、彼の3本目の成功を祈り、応援していたと思います。冬季オリンピック北京大会におけるスノーボードハーフパイプ 金メダルに輝いた平野歩夢選手です。まだ 23歳の若い彼に多くの人が着きつけられたのではないのでしょうか。2本目の評価の低さに怒りがあっても表に出さず、それを3本目のエネルギーに変え、有無を言わせない試技につなげたところ。誰の所為にもせず、不満を口にすることもなく…かつこよすぎです。正真正銘の一流でした。インタビューでは、常に落ち着いた受け応えであり、とにかく無駄な言葉がひとつもない。飾らない本心だからしっかり届いてきます。言葉のチョイスも素敵です。一言一言に純粋さや優しさ、重みを感じられます。周りへの感謝の念を忘れず、己におごることのない謙虚な人柄も伝わってきます。



歩夢選手の弟 同種目9位の海祝(かいしゅう)選手も素敵でした。ハーフパイプ初出場ながら、見る者の眼をくぎ付けにした驚異の高さ。「金メダルを獲るべきは兄ちゃんだ」と、兄の努力を一番知る者としての言葉。そして大好きで尊敬する兄の金メダルを、自分のことのように喜ぶ姿。「兄ちゃん、兄ちゃん」と世界の舞台でもはばからず自然体でいられるところ……。

「ようやく小さい頃の夢がひとつかなかったかな…」兄 歩夢選手が、インタビューで語った言葉に、描く「夢」の力と、それに向かう意志の強さを感じました。まさに名は体をあらわします。夢にむかって一步一步前進する歩夢選手と弟 海祝選手の活躍をこれからも注目し、応援したくなりました。また、そんな人間的に魅力あふれる平野兄弟は、どのような環境で、どんな人たちの中で、どんな言葉をかけられて育ってきたのかも知りたくなった次第です。

今回のオリンピックにおいては、選手それぞれの人間味あふれるエピソードやコメントが多く伝えられたように思います。また、国を背負って戦うというイメージのオリンピックから、選手個人のたゆまぬ努力と妥協を許さない高い精神力の表現の場に、オリンピックが変わってきたことを強く感じました。国を超えて選手同士が互いに敬意をはらい、称え合う姿が見られるオリンピックはいいなと改めて思います。皆さんも、オリンピックを通して感じたこと、考えたことなどをぜひ言葉にして家の人や近くの友達と話してみてください。いろいろ見えてくるものが、きっとありますよ。

※ 「東雲」の大ファンという保護者さん、ありがとうございました。励みになります。【校長】

これが学校のいいところ

あるクラスの学級通信に「学校にいくとこんなにいいことが」とクラスの子たちの意見が載っていました。一部紹介します。

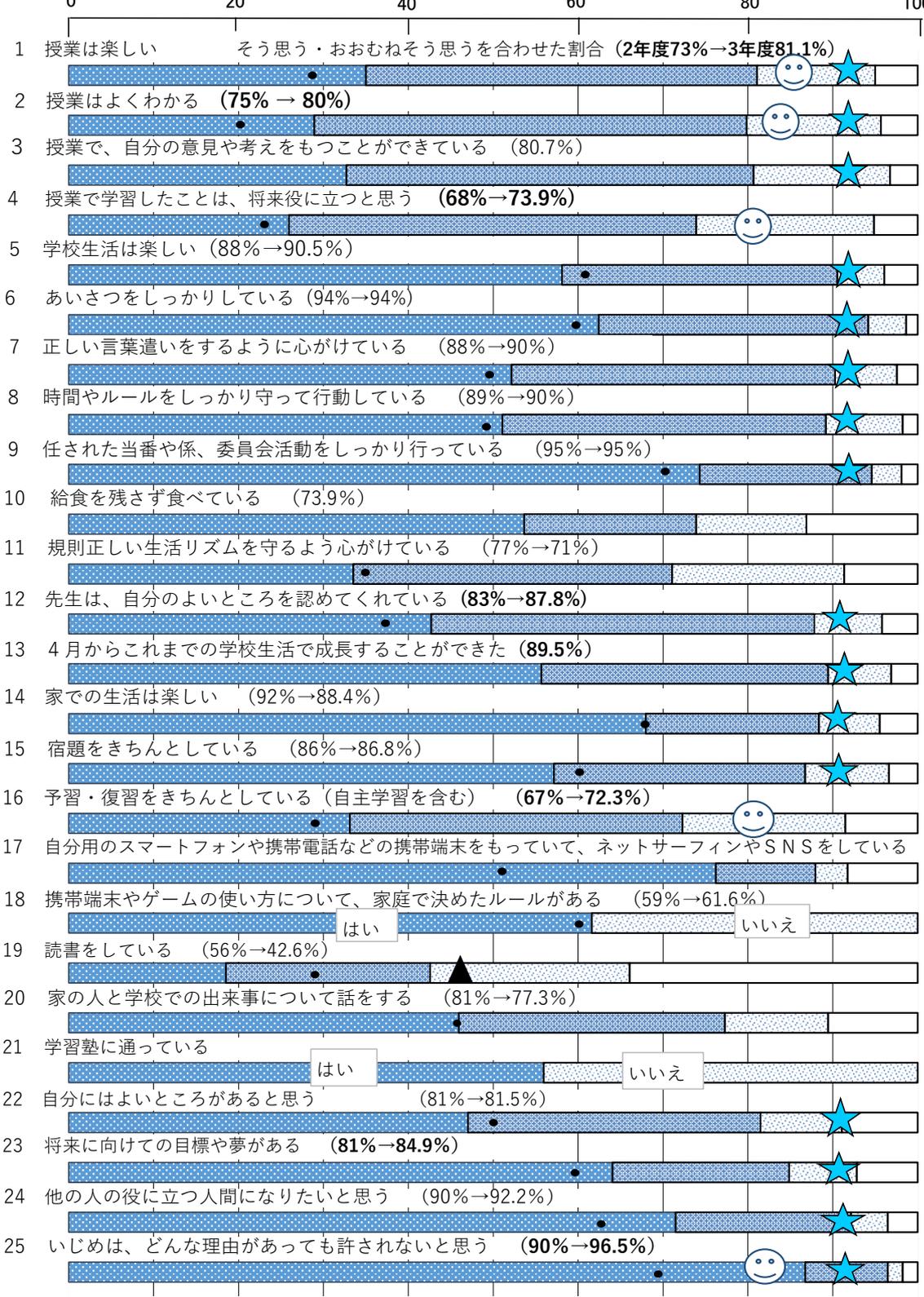
- ・良い生活リズムで過ごせる
- ・学校でしかできない学習ができる
- ・先生と話せる
- ・LINE をやっていない人と話せる
- ・掃除の時間にきれいにしようと思える
- ・楽しいことがおきる
- ・うれしいことが急にある
- ・コミュニケーション

能力が上がる ・みんなで授業ができる ・部活がある

- ・友達に会える
- ・学校の授業では聞き直すことができる
- ・他の人の意見を聞ける
- ・困ったことがあったらすぐ相談できる
- ・給食で栄養がとれる
- ・好きな人に会える
- ・協力して何かに取り組める
- ・将来役に立つことが学べる
- ・授業がわかりやすい
- ・全員集まると楽しい
- ……学校のいいところ、みんなよくわかっているなと思いました。やっぱり学校はいいね。

※ 裏面の令和3年度の学校評価「生徒アンケート」の結果もご覧ください。

令和3年度 学校評価（生徒アンケート）



😊 肯定的な回答 5ポイント以上上昇

★ 肯定的回答 合計80%以上

▲ 肯定的回答 合計50%以下

● 昨年度の強い肯定的な回答

○今年度も多くの設問について、肯定的な回答の割合が高まっています。中でも、強い肯定的回答の割合が大きく(5ポイント以上)上昇した設問の数も昨年以上であり、これまでの教育活動の成果が表れているととらえています。

○設問1～4の授業に関しては、新しい指導要領に基づく授業展開が概ね順調であることが伝わってきます。

○学校生活の様子を尋ねる7つの設問のうち5つが肯定的回答90%を超えました。生徒たちが自律し取り組んでいることが分かります。

○中でも自らの成長を問う新しい設問(13)において、9割近い生徒が「成長している」と回答しています。

○設問12「先生は、よいところを認めてくれている」については、かなり上昇してきましたが、今後も100%に近づくよう、担任だけでなく、すべての生徒をすべての教職員でしっかりみていくことに努めます。

○設問22～25の自己肯定感や有用感等にかかわる全ての問いで上昇が見られます。こうした数値でも、現在の東中学校の状況を裏付けられると考えます。

○いくつか肯定的回答の割合が下降している設問もあります。その要因を探り、改善を図っていきます。

○多くの設問において、年々肯定的な回答の割合が高くなってきています。ご家庭のご理解とご協力があるからこそと感謝申し上げます。